

コロナに打ち克つ！九州創生全力宣言

～「九州はひとつ」の思いを胸に～

九州・山口地域の社会経済活動は新型コロナウイルス感染症のため、この1年以上の長期にわたり多大な影響を受けている。加えて、驚異的な感染力を有する変異株が出現したことにより、新規感染者数の増加に歯止めがかからず、現在、感染症の収束について先行きの不透明感が更に高まっている。私たちは今こそ、持てる力の全てを傾注し、感染拡大防止に挑まなければならない。

一方、今回の新型コロナウイルス感染症は、「集中から分散」や「デジタル化の加速」など、社会全体に新しい流れをもたらしている。このようなパラダイムシフトともいうべき社会変容をしっかりと受け止めた上で、成長センターであるアジアに近いといった九州・山口地域の強みを最大限に生かしつつ、社会経済活動の再活性化に前向きに取り組むことも強く求められている。

ワクチン接種も本格化し、困難を克服する道筋が見え始めた今こそ、私たちのふるさとである九州・山口地域が、以前にも増して安心・安全で生き生きと暮らすことのできる、活気に満ちた魅力ある地域社会となるよう、「九州はひとつ」の思いを胸に一丸となって、新たな時代を切り拓いていくことを宣言する。

○オール九州で新型コロナ感染拡大を阻止！

- ・ 3密の回避、外出自粛、県境をまたぐ移動の自粛
- ・ 検査体制の強化・拡充と積極的疫学調査の徹底による早期封じ込め
- ・ 感染者急増に対応する病床・医療従事者など医療提供体制の確保
- ・ 一刻も早いワクチン接種の実施
- ・ 新しい生活様式の実践など官民一体となった感染防止策の徹底

○新たな時代を切り拓く九州創生の実現！

- ・ 機動的な需要喚起、消費拡大策の推進
- ・ デジタル・トランスフォーメーションの推進
- ・ 地方回帰機運の高まりを捉えた人の流れ・移住定住のさらなる促進
- ・ 農林水産物の輸出拡大などフードアイランド九州の推進
- ・ インバウンド需要回復時を見据えた取組の推進
- ・ 脱炭素社会への挑戦
- ・ 人やモノの移動を容易とする地方創生回廊の構築

令和3年5月19日

九州地域戦略会議 共同議長 広瀬 勝貞
共同議長 麻生 泰